

かわかみそん
川上村庁舎新築工事

受賞機関 山口県川上村

はじめに

山口県の北部に位置し、県庁所在地山口市から約40km、日本海側の萩市より約12kmの地点に位置する、人口約1,300人の農山村である。

村の中心を2級河川阿武川が東西に貫き日本海に流れ込んでおり、その一部に県営としては日本最大級の規模を誇る阿武川ダム湖がある。

村のほとんどが連山に覆われ、総面積93.22 kmのうち、山林が90%を占めており、林業が盛んな村である。

平坦地は極めて少なく、阿武川を中心に豊かな自然に恵まれ、四季折々の美しさを添えている。

木材産業が低迷するなか、木材資源の需要拡大のため、木造の公共建物も多く建設している。その施設として、小学校校舎はじめ学校関係諸施設、村営住宅及び阿武川温泉等の施設がある。

事業の概要

事業名：木材流通合理化整備特別対策事業

「木造公共施設等整備事業」

事業期間：平成11年7月～平成12年5月

敷地面積：10,895㎡

建物の構造：延床面積 1,712.84㎡

(一階 1,310.79㎡ 二階 402.05㎡)

構造 木造一部二階建、大断面集成材による軸組工法

木材使用量 464.2㎡

杉 306.5㎡、桧 74.5㎡、松 35.3㎡

SST 3.0㎡、その他 44.9㎡

事業費：866,836,000円

庁舎建設工事 740,250,000円

屋外整備工事 126,586,000円

事業の特徴

地球環境、建物周辺環境を考慮し、川上村を中心とした地域産木材を使用し、地域の林業、木材産業の振興を図り、各種施設の木材化及び木材利用を促進した建物である。

主構造としては、伝統的な在来工法と新しい工法



村民ホール



やすらぎのあるラウンジ



水と森の館



の大断面集成材による二つの工法がうまく融合した建物である。

大規模木造建築物と言うことで、防火上の法律的規制が厳しく、防火区画を設け執務棟と、議会棟とに区分し、機械室、防災無線室、永年書庫等防火機能が必要な部分については一部鉄筋コンクリート造とした。

また、空気調整設備もエコアイス方式で深夜電力の使用により省エネ、コスト縮減を行っている。

村民ホールのシンボル柱は、地元の樹齢約100年前後の杉の磨き丸太6本を使用しており、木の温もり、美しさ、たくましさを表現している。また、川上村の森林、棚田をイメージしたラウンジ及び中庭など、自然を生かした雰囲気漂い光庭との一体感が村民及び来庁者の心にやすらぎを与える空間をつくっている。

受賞賛助会員 鹿島建設(株)広島支店